

市政ニュース 速報版

2018年2月14日 日本共産党 岡山市議団 NO. 230
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

国保料

所得200万円で6,325円値上げ 毎年2.8億円値上げを6年間！！

岡山市は、2月14日の市国民健康保険運営協議会（国保運協）に、2018年度から国保料を段階的に値上げする方針を示し、国保運協で了承されました。所得200万円の1人世帯の値上げ額は、2018年度には年約6,325円、19～23年度は年約8,080円の値上げとしています。正式な保険料額は、被保険者数や所得総額などが確定した後の6月頃に決まります。

計画では、現在行っている国保会計の赤字補てん目的の法定外繰入（約19億円）を、年平均約2.8億円ずつ削減し、2023年度までの6年間でゼロにします。2018年度の赤字補てん以外を含めた法定外繰入額全体は、2017年度の29.5億円から13.2億円に減らします。

低所得者対策は、上限額の4万円引き上げ、減免対象の拡大（減免対象基準の上限を引き上げ）などとしています。

特定健診の自己負担は2,050円から500円に下がります。私たちが要求してきたことです。

1人世帯の保険料の引き上げ額（2017年12月のデータによる試算）

所得モデル（1人世帯）	2018年度の値上げ額（年）	19～23年度の値上げ額
所得33万円（年金収入153万円）	約 144円／年	約 450円／年
所得83万円（年金収入203万円）	約 2,230円／年	約 3,460円／年
所得200万円（年金収入320万円）	約 6,325円／年	約 8,080円／年

今でさえ、保険料が払えず滞納している世帯が2割にのぼっており、保険料負担はもう限界です。「年金は減らされ、食べ物や医療の支払いが増えている中で、保険料がこれ以上上がったらやっていけない」という悲鳴が上がっています。

岡山市は、この実態に目を向けず、国言いに赤字補てんの法定外繰入をゼロにしていく態度をあらわにしました。公費投入をどんどん減らしてきた国や、来年度から運営主体となる県に対して公的支出を本気で求めることなく、「赤字の解消」責任を国保加入者に押し付ける岡山市のやり方は、絶対に許せません。

日本共産党岡山市議団は、国保値上げ方針の撤回を求めてがんばります。

「国保引き下げ署名」をさらに広く集めましょう。